

企画者のことば

手術時における術中・術後合併症は患者さんにとっても術者にとっても大変なストレスである。術中合併症の1つである出血や他臓器損傷などのトラブルは、発症時の適切で迅速なリカバリーが必要となる。このような術中合併症の要因には、①適応の拡大、②難度の高い症例の増加、③解剖学的知識の未熟さ、④手術技術の未熟さなどが挙げられる。

今回の特集では、手術の達人たちが長年の経験をもとにその要因や対策法を検証し、術中のトラブルシューティングとその予防法について執筆していただき、さらに、腸閉塞などの術後合併症に対する対策についても解説していただいた。手術は病気を治すことが目的だが、合併症を発症させないことは最も重要である。そのためには、術中のトラブルシューティングと術後合併症予防を身につけなければならない。この特集が先生方の今後の手術の参考になれば幸いである。

2023年11月吉日

東京女子医科大学産婦人科 田畑 務
Tsutomu Tabata

東京慈恵会医科大学産婦人科学講座 岡本愛光
Aikou Okamoto